

住宅火災からいのちを守る「4つの習慣」

住宅火災からいのちを守るため、4つの習慣に注意して下さい。

習慣① 寝たばこは絶対にしない、させない



たばこは、死者が発生した住宅火災の出火原因として最も多いものとなっています。特に寝たばこは危険性が高く、寝たばこをしない習慣化が大切です。たばこを吸うときは灰皿のある決まった場所で吸いましょう。

習慣② ストープの周りに燃えやすいものを置かない

ストーブの上で干さない



就寝時はストーブを消す



つけたまま灯油を給油しない



ストーブを壁から離すことも重要

必ず必要な距離を
空けましょう!



ストーブは死者が発生した住宅火災の出火原因としてたばこに次いで多く、特に80歳を超える年齢層では、ワースト1位です。ストーブ周りの整理整頓を心がけることが大切です。

習慣③ コンロを使うときは火のそばを離れない

調理中にその場から絶対離れない



コンロによる死傷者は、高齢化に伴い増加する傾向にあります。特に男性では60代後半で急増しています。調理が終わった際の消火の確認やコンロ周囲に可燃物を置かないことを習慣付けることが大切です。また、袖口などへの着衣着火に注意することも必要です。

調理中にコンロから離れる時は必ず火を消す



コンロの周りはいつも整理整頓

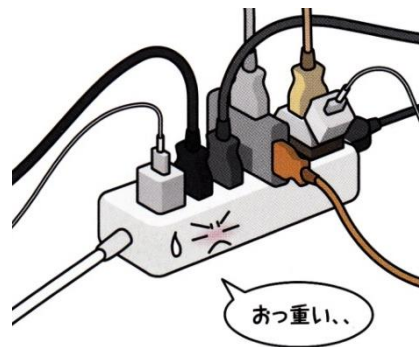


習慣④ コンセントはほこりを清掃し、 unnecessary プラグは抜く

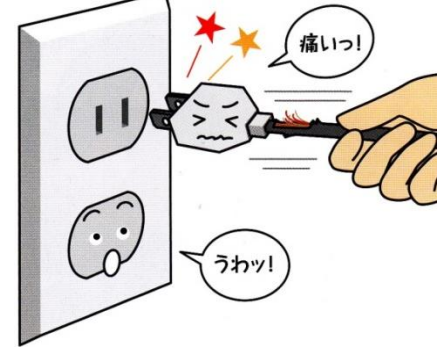
見えにくいコンセントも掃除する



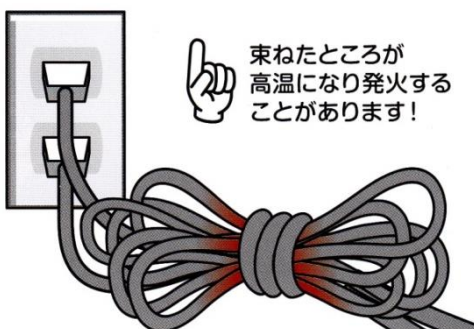
unnecessary プラグは抜く
たこ足配線は危険



コードを引っ張って抜くのをやめる



コードを束ねて使うのをやめる



電気器具類の火災による死者数は、近年増加傾向にあります。コンセント周囲の定期的な清掃やテーブルタップ等の定格容量以上の使用(たこ足配線)を行わないことを習慣付けることが大切です。火災対策の安全装置(トラッキング防止、ブレーカー等の機能)付きコンセント等への交換も重要です。